

令和6年度 事業計画／予算 [概要版]



子育ての楽しいことも、大変なことも、
みんなで分かちあえるまちづくりを目指します！



ボランティアのきっかけづくりから活動まで、
トータルにサポート！



小さな悩みも、大きな不安も、地域の力と
社協の力と専門性で解決をサポート！



地域みんなで助けあい、支えあえる
やさしいまちづくりをサポート！



地域の中で支えあったり、ときにはプロの手を
かりながら、安心できる生活をお手伝い！



子どもから大人まで、幅広い世代に大切な
「福祉のこころ」を育むきっかけづくり！

1 基本方針

2 事業計画／重点的な取り組み

- ▶ 新たな取り組み
- ▶ 充実・強化
- ▶ 調査・研究

3 予算の概要

- 4 年間続いた新型 **コロナウィルス感染症** は昨年 5 月に **第 5 類感染症に移行** し、社会経済活動における制限がなくなり、日常生活や地域活動の面でもコロナ前の状態を取り戻してきました。
- その一方では、コロナ禍による高齢者の心身機能の低下や少子化の一層の進行、逼迫する雇用環境の下での地域活動の担い手の減少など、**地域福祉の基盤** が弱まってきています。
- こうした中で、国においては、「**こどもまんなか社会**」への取組みや共生社会の実現を推進するための「**認知症基本法**」、**「孤独孤立対策推進法」**の施行など、各種の施策が進められています。しかし、これらを実際の地域福祉に結びつけられるかどうかは、それぞれの自治体や住民自身の積極的な取組みが欠かせません。

- このような社会環境の変化を踏まえて、令和6年度においては、向こう6年間（令和7年度～12年度）を計画期間とする「第5期柏市地域健康福祉活動計画」を、行政を含めた多様な関係機関と連携・協議しながら策定します。
- また、第5期活動計画への新たな地域づくり・社会参加の取り組みを試行的・先行的に実施することとします。
- このほか、地域の相談支援と社会参加支援等の拠点となる地域いきいきセンターの増設、認知症高齢者等の権利擁護体制の強化や社会福祉法人ネットワークを活用した地域福祉活動など、各種の取り組みを通じて、つながり・支えあいのある地域共生社会の増進に努めてまいります。

-基本方針-

- (1) 孤立させない・孤立感のない体制やしくみづくりを進めます。
- (2) 重層的な支えあい活動の推進と支援を進めます。
- (3) 協議体機能を活かした新たな連携や活動の創造を進めます。

① 第5期柏市地域健康福祉活動計画の策定

誰もが取り残されず、安心して暮らせる地域共生社会を実現するため、柏市が策定する柏市地域健康福祉計画と連携し、**第5期柏市地域健康福祉活動計画**を策定します。

[取り組み]

- ・ 令和7～12年度における実践的な取り組み方針（アクションプラン）
- ・ 地区別計画及び市社協の発展・強化のための行動計画
- ・ 地域支えあい推進協議会などの関係機関の意見反映



②新たな地域づくりの手法の展開

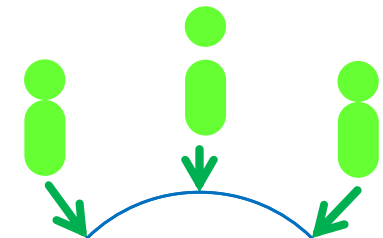
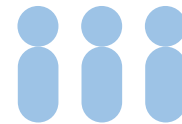
(地域活動コーディネート支援事業)

新たな居場所や社会参加の場の創造のため、地域課題解決（コミュニティデザイン）の手法を取り入れながら、「個別支援」と「人材発掘」「地域づくり」が連動する地域福祉活動を推進します。

[取り組み]

- ・ 先進事例を参考に民間事業者とも連携して、新たな形のコミュニティワークによる地域づくり
- ・ 新たな人材発掘と事業展開の試行的取り組み

複合課題を抱えた方
や孤立状態の方



まちづくりの
多様な人材が
集う場

地域づくり・参加支援
など活動の実施

③ 要支援者等の重度化予防の伴走支援

介護保険の要支援者や総合事業の該当者等の自立支援・重度化の防止のため、地域包括支援センターとの連携の下、地域いきいきセンターにおいて身近な地域の活場の場への案内・同行等による参加支援を実施する。

〔取り組み〕

- ・地域包括支援センターが必要と認めた要支援者等への伴走支援
- ・令和6年度は2か所（光ヶ丘・風早北部いきいきセンター）でのモデル的運用による効果把握

通いの場・サークル・自宅などで

こんな場所があるとは知らなかった！
これからも楽しみ♪

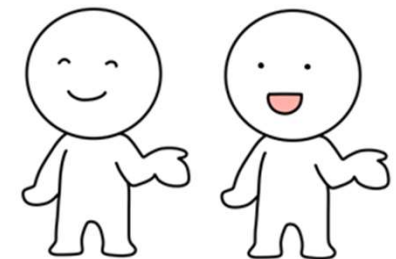


外出が面倒で…



生活支援Co
地域包括支援センター

ご自身の趣味や特技が
活かせる場や機会が
ありますよ！

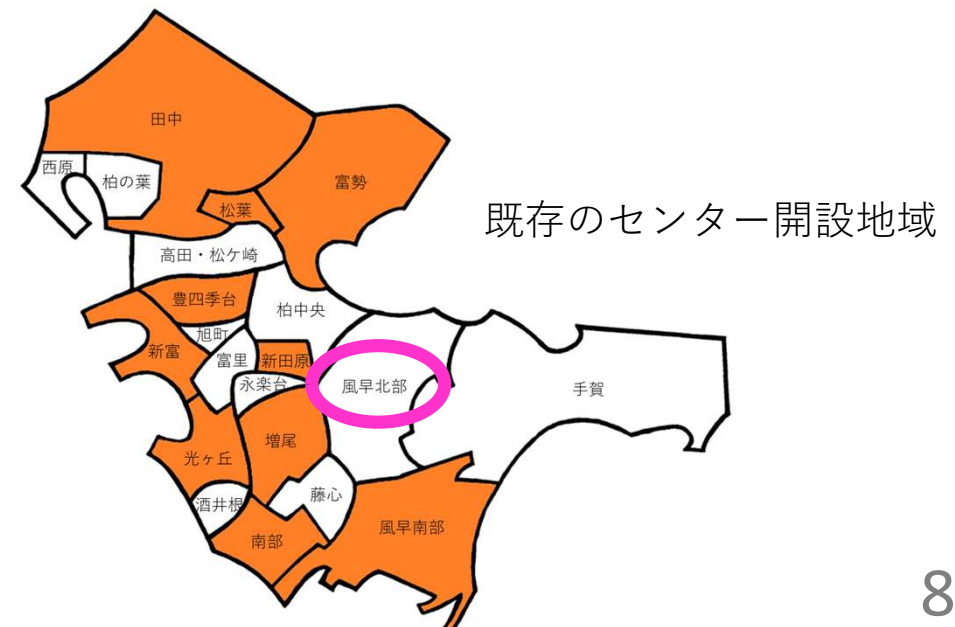


① 地域いきいきセンターの増設

新たに 11 か所目となる風早北部地域いきいきセンターを開設し、地域の身近な困りごとの相談、支えあいやボランティアの推進、地域づくり等を行います。

[スケジュール等]

- ・ 開設予定：令和 6 年 5 月
- ・ 開設場所：ひまわりプラザ（沼南近隣センター） 2 階
柏市大島田 4 4 0 - 1
- ・ 開設日時：毎週火・水・金曜日（午前 10 時から午後 4 時）
- ・ 職員体制：専門職 2 名配置



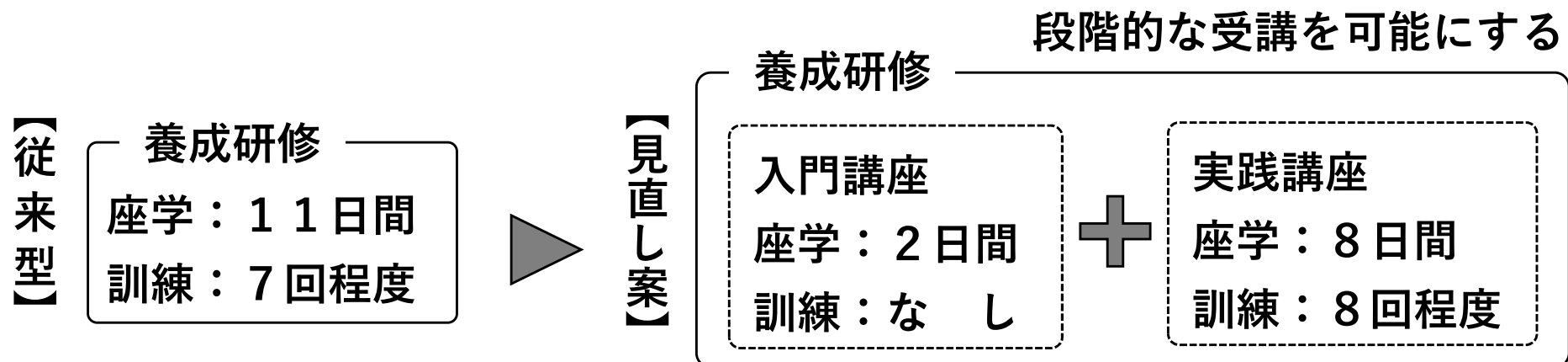
② 市民後見人の養成及び活躍支援等の強化

親族以外の成年後見人が増加するなかで、市民後見人の安定的な確保と更なる活躍を支援するため、養成研修の見直しを行うとともに、市民後見人候補者に対するフォローアップの強化・充実を図ります。

[取り組み]

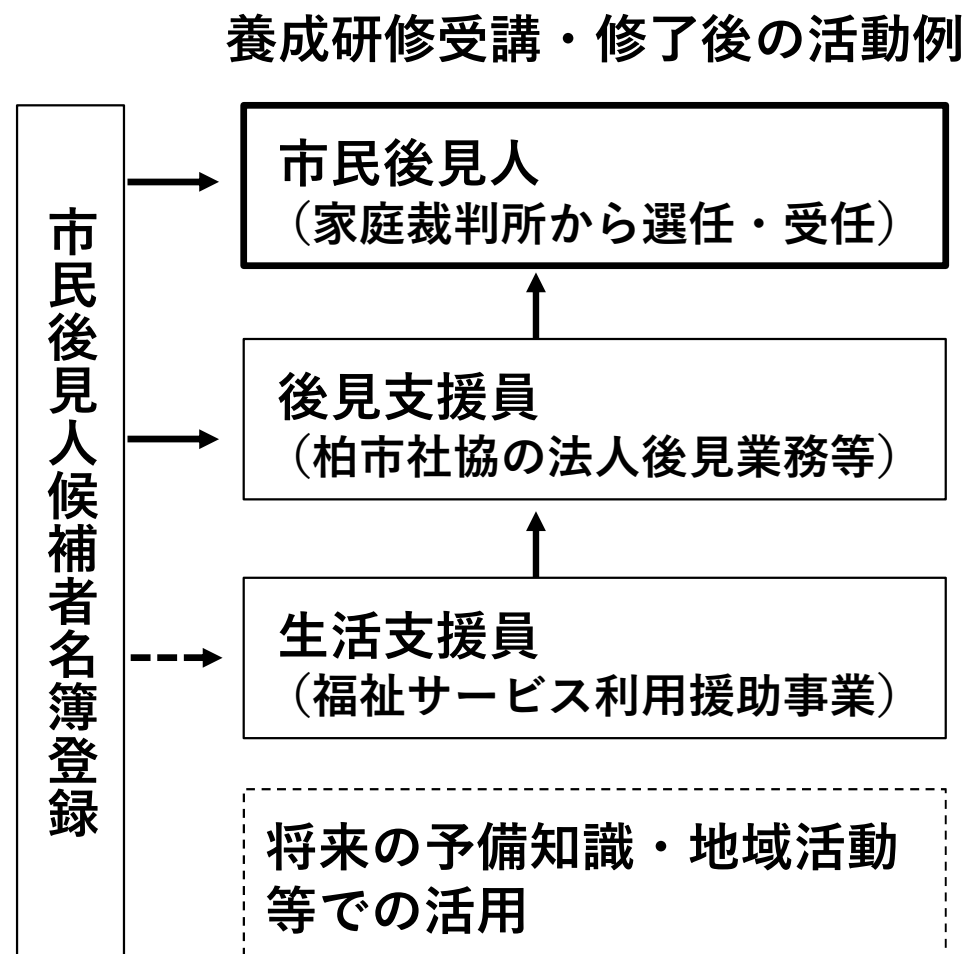
- ・ 市民後見人養成研修カリキュラムの見直し
- ・ 市民後見人候補者の単独受任の増加と資質の維持向上のための支援強化

1 市民後見人養成研修カリキュラムの見直し



② 市民後見人の養成及び活躍支援等の強化

2 単独受任の増加、資質の維持向上



① 単独受任に向けた積極的な働きかけとフォローアップ
(監督人や研修等)

② 生活支援員や後見支援員から、単独受任への移行

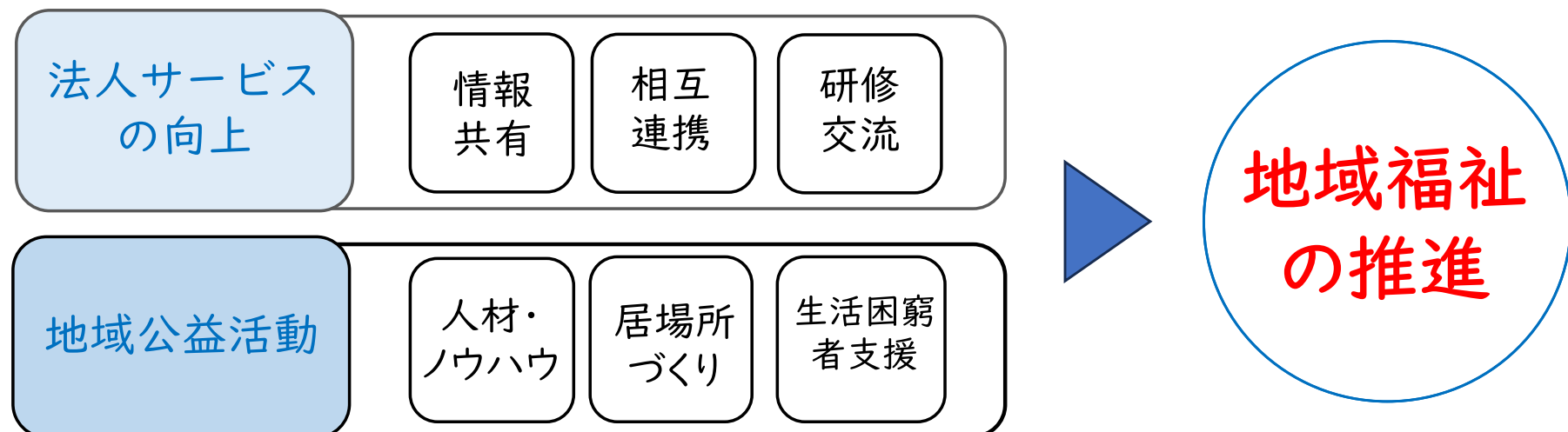
③ 柏市社会福祉法人等ネットワークの推進

令和6年3月に創設された柏市社会福祉法人等ネットワークの事務局として、社会福祉法人の有する資源（人材・ノウハウ・スペース等）が地域福祉の推進に活かせるように、地域とネットワークとの調整等の機能を担っていきます。

[取り組み]

- ・ ネットワークによる地域公益活動の推進
- ・ 法人サービスの向上に向けた研修等の実施（人材育成）

■活動案の一例（イメージ）■



④ 社協体制の強化と利用料金の改定

効率的な運営体制及び各種活動の質の向上と安定した運営を図るため、組織体制の見直しを行うとともに、契約職員に対する処遇改善を実施します。また、燃料費、光熱費の増嵩及び受益者負担の適正化の観点から、各サービス事業の利用料金の見直しを図ります。

[取り組み]

- ・ 契約職員に対する処遇改善
- ・ 沼南社会福祉センター使用料及び移動サービス利用料の見直し

● 契約職員の処遇改善（運営基盤の強化）

契約職員（常勤）の役割

雇用形態	人数	割合
正規職員（常勤）	44人	30%
特別契約職員（常勤）	3人	2%
契約職員（常勤）	51人	35%
契約職員（短時間）	47人	33%
計	145人	100%

いきいき C・権利擁護 C・コーディネート業務

- ・ 第一線の業務（窓口での個別相談）
- ・ 専門的な業務（専門資格の保有）
- ・ 能力の向上（経験によるスキルアップ）等

社協における中枢業務の中心戦力
優秀な人材確保による「サービスの質の向上」

④ 社協体制の強化と利用料金の改定

沼南社会福祉センター使用料（1時間あたり）

室 名	現 行	改定後 (令和6年4月1日から)
レクリエーション室	500円	600円
料理実習室	400円	500円
会議室 1		
会議室 2		
会議室 3		



[沼南社会福祉センター]

移動サービス利用料

	現 行	改定後 (令和6年4月1日から)
市 内	500円	600円
市 外	600円	800円



[移動サービスこらくだくん]

2 重点的な取り組み [調査・研究]

[事業計画 5 頁]

① 「伝わる」広報戦略の検討

住民の地域福祉活動や社会福祉協議会の活動等が広く市民に理解されるとともに、興味や関心をもってもらえる広報の在り方や手法等について調査研究します。

[取組み] 広報戦略会議を立ち上げ、広報戦略を策定

② DX(デジタル技術) を活用した災害ボランティアセンター運営の検討

災害ボランティアセンターにおいて効率的なボランティアの受付・登録が可能となるシステムの導入に向けた検討を行います。

[取組み] 災害支援システムの活用方法の検討

③ 今後の事業展開を踏まえた組織体制及び拠点等の検討

第5期活動計画の方向性を踏まえ、職員増に対応した効率的な組織体制と事務所機能の在り方等について検討を進めます。

[取組み] 拠点戦略の基本構想の策定

3 予算の概要

①法人全体及び事業区分別の予算

単位：千円

[法人全体]

	前年度	令和 6 年度	前年比（増減）	増減率
内部取引消去なし	1,059,689	1,108,744	49,055	4.6%
内部取引消去あり	1,027,867	1,070,406	42,539	4.1%

[事業区分別（内部取引消去なし）]

	前年度	令和 6 年度	前年比（増減）	増減率
社会福祉事業	859,573	882,151	22,578	2.6%
公益事業	200,116	226,593	26,477	11.3%

3 予算の概要

[収入]

- 自主財源（会費、寄付金、共同募金配分金）は、R5年度の決算見込みを踏まえ、収入減として計上
- 補助金は前年より37,239千円の増、受託金は25,033千円の増
- 今期から、法人の共通経費の一部は分担金収入（8,200）として計上

[支出]

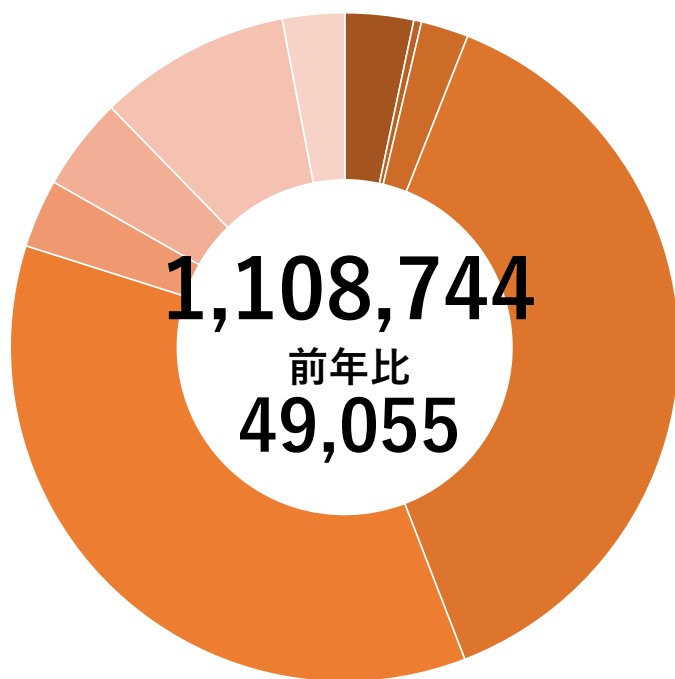
- 契約職員の処遇改善の一つとして賞与を支給するため、人件費は73,441千円の増
- 運転資金の確保のため処理していた事業運営基金の取崩し及び同額の積立について、基金規程の制定により繰替運用するため積立資産支出40,000千円の減

3 予算の概要

②予算の内訳

単位：千円（内部取引消去なし）

収入

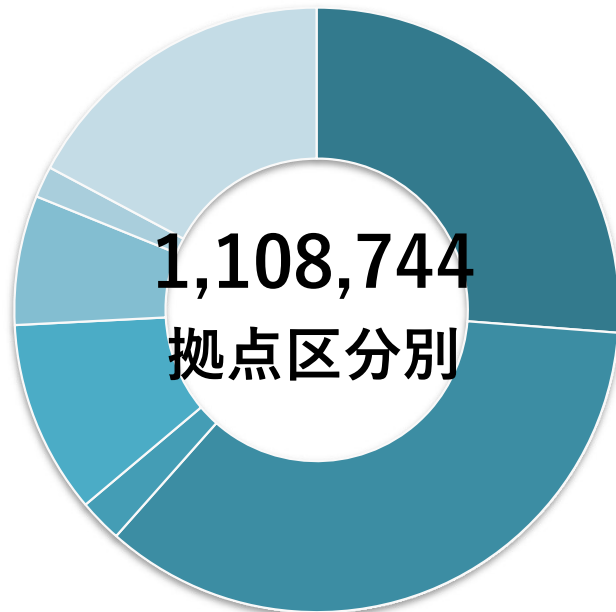


会費	34,800	3.1%
分担金	8,200	0.7%
寄附金	3,500	0.3%
共同募金配分金	22,725	2.1%
補助金	443,240	40.0%
受託金	403,860	36.4%
事業収入	41,311	3.7%
積立資産取崩	17,301	1.6%
その他繰越金等	95,469	8.6%
内部取引	38,338	3.5%

3 予算の概要

支出

単位：千円（内部取引消去なし）



(社)法人運営事業	245,071	22.1%
(社)地域福祉推進事業	411,922	37.2%
(社)共同募金配分金事業	22,725	2.1%
(社)施設管理運営事業	123,231	11.1%
(社)資金貸付・基金運営事業	79,202	7.1%
(公)施設管理運営事業	21,184	1.9%
(公)在宅福祉サービス事業	205,409	18.5%



人件費	670,327	60.5%
事務・事業費	241,166	21.7%
分担金	8,200	0.7%
貸付事業支出	22,658	2.0%
助成金・負担金支出	44,972	4.1%
固定資産取得支出	351	0.1%
積立資産支出	8,732	0.8%
内部取引	38,338	3.5%
その他予備費等	7,000	0.6%
次期繰越	67,000	6.0%

3 予算の概要

③事業別の主な増減

単位：千円（内部取引消去なし）

※事業の記号は「事業計画・予算書」の記号

[社] 法人運営事業

ア 法人管理運営事業 ▲ 32,530千円

職員人件費の増（5,800）／繰入金支出の増〔子育て区分へ人件費不足分〕（2,700）

積立資産支出の減（▲53,000）／当期末支払資金残高の増〔次年度繰越金〕（11,000）

[社] 地域福祉推進事業

ア 地域福祉活動推進事業 28,424千円

職員人件費の増（31,000）／地域支えあい推進員業務委託費の減（▲4,800）

新規受託事業費の増〔地域活動コーディネート支援事業〕（1,900）

エ 子育て支援事業 6,847千円

職員人件費の増（6,000）

[社] 施設管理運営事業

イ 老人福祉センター管理経営事業 12,658千円

職員人件費の増（5,300）／施設管理経費の増（1,600）

繰入金支出の増〔繰越金の充当〕（5,200）

3 予算の概要

[社] 資金貸付・基金運営事業

ア 資金貸付事業 6, 7 2 2 千円
貸付金支出の増 (6,800)

[公] 施設管理運営事業

ア 社会福祉センター設置経営事業 3, 3 6 1 千円
Wi-Fi工事関係経費の減 (▲1,100) / 修繕費の増 [外灯LED化等] (3,000) /
水道光熱費の増 (980) / 固定資産取得による増 [電話機交換購入] (151) /
積立資産支出の増 [修繕積立金] (360)

[公] 在宅福祉サービス事業

ア さわやかサービス事業 1 2, 9 5 3 千円
職員人件費の増 (12,400)

イ 成年後見事業 3, 0 5 6 千円
職員人件費の増 (3,300)

ウ 地域包括支援センター受託運営事業 7, 1 0 7 千円
職員人件費の増 (6,900)